



いづも

- 産み育てる環境
- 就学前教育・保育
- 学校教育
- 地域子育て支援



こども

5年後の目標

# 産み育てる環境

安心してこどもを産み育てられる環境が充実し、  
全てのこどもがその子らしく健やかに育っている。

## ●概況●

国は令和5年に「こども家庭庁」設置、「こども基本法」施行など、「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組んでいます。本市の出生数は微減傾向にあるものの、子育て世帯の転入などにより、年少人口が一定維持されています。

また、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援、子育て支援医療費の助成拡充などに取組み、児童福祉と母子保健の一体的な対応、療育を必要とする児童やニーズの増加に対応する児童発達支援センターの開設など、「産み育てる環境」の充実を図ってきました。

## 施策

### 子育て環境の充実

5年後  
の  
目標

こどもを望む人が安心して妊娠・出産・子育てができる環境の中で、全てのこどもが健やかに育っている。

### 子育てにおける安心の確保

5年後  
の  
目標

家庭環境や障がいの有無に関わらず、支援が必要なこどもと家庭がしっかりと支えられ、安心して暮らしている。

### 子育てにかかる 経済的負担の軽減

5年後  
の  
目標

妊娠・出産・子育て・教育に関する家庭の経済的負担が軽減して、子育てしやすい環境となっている。

#### ■関連計画、条例など

\*長岡京市子ども子育て支援事業計画 \*長岡京市健康増進計画

\*長岡京市障がい者(児)福祉基本計画

こども

産み育てる環境

## 施策の内容

- ◇ 全てのこどもの健やかな成長を支える「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こどもまんなかプロジェクトチームを設置します。
- ◇ プレコンセプションケアを推進し、若者が将来のライフプランを考えて、日々の生活や健康に向き合う機会をつくります。
- ◆ 公共施設の再編等を進める中で、地域子育て支援センターなど、親子が遊び、交流できる場へのニーズに応えます。
- ◆ こどもが思いっきり遊べる快適な空間づくりを進めます。
- ◇ 男性の育児参加を進めるため、こどもの出生前から育児の具体的な手技を習得できるよう工夫を凝らした教室等を開催します。

- ◇ こども家庭センターと医療・教育に係る連携を強化し、一体的な支援体制を構築する中で、ヤングケアラーの支援にも取組みます。
- ◇ 保育所・幼稚園・学校等における医療的ケア児の受入について、必要な人員体制を整えると共に、児童発達支援センターとも連携します。
- ◇ 共生型交流エリアを核として、児童発達支援センターと福祉・医療・教育機関が連携による発達障がい児に対する支援モデルの構築に向け、京都府と共に取組みます。
- ◇ 妊娠期をスタートに、妊婦のための支援給付金で経済的支援を図るとともにアウトリーチ型の支援など、こどもの成長に合わせた切れ目ない支援を充実します。

- ◇ 子育て支援医療費の助成制度について、京都府と連携して充実を図ります。
- ◇ 様々な年代の子育てにかかる経済的負担について、国の動向をふまえ軽減策を講じます。

SDGs  
該当分野





# 就学前教育・保育

就学前のこどもが、家庭や地域に守られ、  
良好な育ちと学びの環境でのびやかに生活している。

## ●概況●

民間保育施設の誘致や定員拡充などにより、待機児童ゼロを維持しています。保育ニーズが高まる中で、施設などのハード整備と合わせて、保育士をはじめとする人的資源の確保による受入人数の拡充など、ソフト面での対策が求められています。併せて多様なニーズに対応した保育サービスや施設環境の充実も重要です。義務教育への円滑な移行のためにも、就学前のこどもの成長を支える良好な環境の確保が求められます。

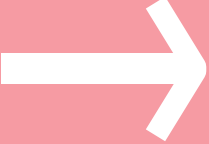
## 施策

### 就学前教育・保育の充実

5年後  
の  
目標

こどもの成長と家庭を支えるサービスが充実し、保護者は子育てと仕事などを両立できる環境になっている。

## 施策の内容

- 
- ◇ 老朽化した公立保育所の整備を進めます。併せて、民間の就学前教育・保育施設の整備や改修を支援します。
  - ◇ 国が進める DX を活用し、保育所入所申請に関する保護者負担の軽減と入所希望とのアンマッチの解消を図ります。
  - ◇ 保育所や幼稚園等の受入状況を踏まえ、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の導入など 0 歳～2 歳児への支援を充実します。
  - ◇ 公立保育所において、民間サービスの導入など、快適な保育所づくりを進めます。
  - ◇ 公立民間を問わず、保育士確保の取組を強化します。





# 学校教育

こどもが学校・家庭・地域に学びながら  
「生きる力」を培って、未来に夢を描いている。

## ●概況●

児童生徒一人1台タブレット端末を配布し、授業や家庭学習で活用しています。また、老朽化した長岡第四小学校の新校舎の整備、全特別教室への空調設置など学習環境が充実しました。

義務教育では、体験を重視した学びの中で、児童生徒に生涯にわたる学習の基礎となる「生きる力」を育むことを重視しています。学びを深められる機会の提供や、生活や学びにわたる課題の早期発見など児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、個々の特徴に応じた、切れ目ない指導・支援を行い、一人ひとりを大切にする教育が求められます。また、学校は児童生徒が長い時間を過ごす生活の場であり、地域のコミュニティの拠点としても機能しているため、快適に過ごせる環境整備も重要です。

## 施策

### 学びの充実

5年後  
の  
目標

児童生徒が「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を基に「しなやか」に生きていくため、自ら学び、自ら考え、主体的に判断、行動し、問題を解決する能力を育んでいる。

### 一人ひとりの学びへの支援

5年後  
の  
目標

児童生徒の特徴に応じた切れ目ない学びの提供と支援により、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばしている。

### 学校施設の整備

5年後  
の  
目標

学校の良好な学習環境と安全・快適性が保たれ、地域住民の集いの場や災害時の避難所としても機能している。

#### ■関連計画、条例など

- \*長岡京市子ども子育て支援事業計画
- \*長岡京市健康増進計画
- \*長岡京市障がい者(児)福祉基本計画

## 施策の内容

- ◇ DX を効果的に活用し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を深めます。
- ◇ 専門的な知見やデータを活用し、市全体の学力・体力を底上げする取組を継続します。
- ◇ 外国や日本各地のこども同士の交流や外国語活動、アーリントン短期留学など、本市の特長的な国際理解教育を更に充実させます。
- ◇ 学校生活の中で豊かな読書経験ができるよう学校図書室の充実を図ります。
- ◇ 主権者教育と併せて「こども基本法」について学ぶ機会を確保します。

- ◇ 人権教育をあらゆる教育活動の基盤に位置付け、誰一人取り残さない学校を目指し、不登校・いじめ対策を進めます。
- ◆ 学術研究機関と連携し、脳科学など最新の知見を活用しながら、科学的根拠に基づく学習・生活支援を進めます。
- ◇ 校内教育支援センター(別室)やフリースクールとの連携など、こどもが居場所を選べる環境をつくり、切れ目のない支援体制を構築します。
- ◇ 生徒の部活動の選択肢を増やすために、複数校合同部活動の環境整備や市民指導者の派遣など、中学校部活動の地域展開を進めます。

- ◇ 小中学校の体育館・武道場の空調整備に続き、普通教室の空調設備を更新します。
- ◇ 老朽化が進む学校を対象に、整備や長寿命化の方針を具体的に検討します。
- ◇ 快適な学校生活を送れるよう、校内の施設・設備をきめ細かく整備します。
- ◇ 学校施設における環境への取組の一環として、緑化や LED 化を進めます。



# 地域子育て支援

こどもが地域社会の一員として尊重され、多様な体験機会に恵まれて、まちの将来を担う心と力を培っている。

## ●概況●

放課後児童クラブは小学校1年生～4年生を対象に市内全小学校に設置しています。入所希望児童が増えつつある中で、老朽化や狭隘化の対応が必要となっています。また、多様化するニーズにも柔軟に 대응できるよう、効率的で質の高いサービス提供体制についての検討が求められます。

地域学校協働推進事業を市内全小中学校で実施し、自然や地域の人との関わりの中で、様々な体験を通じて学ぶ機会を提供しています。

今後も、地域ぐるみでこどもを育てる気運を高め、住民の参画と協働によってこどもの居場所をつくっていくことが重要です。

## 施策

### こどもの居場所づくり

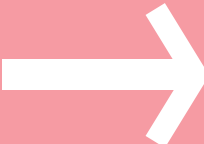
**5年後の目標** 地域の様々な場所にこどもの居場所をつくり、全てのこどもが健やかに、自分らしく成長している。

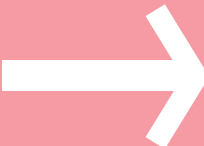
### こどもを見守る社会づくり

**5年後の目標** こどもが意見を表明する機会を確保しながら「こどもの目線」のまちづくりに取り組み、こども・若者の育成を社会全体で支えている。



## 施策の内容

- 
- ◇ 放課後児童クラブの整備と民間運営委託を進め、学校敷地内に立地する本市の特長を活かし、学校施設も有効に活用しながら、待機児童ゼロを維持します。
  - ◇ 地域学校協働活動を通して、こどもたちに様々な体験や活動の機会を提供します。
  - ◆ 公共施設の再編等を進める中で、地域子育て支援センターなど、親子が遊び、交流できる場へのニーズに応えます。
  - ◆ こどもが思いっきり遊べる快適な空間づくりを進めます。

- 
- ◇ こどもの意見表明の機会を設け、ハード・ソフトの両面でこども目線のまちづくりに活かします。
  - ◇ 生きづらさを抱えたこども・若者に対する相談支援等を総合的に行う体制を整備します。
  - ◆ こどもの居場所をつくる取組を通じて多世代が交流する場をつくり、地域における互助・共助の力を育んでいきます。





- 保健・医療
- 高齢福祉・障がい福祉
- 地域福祉
- セーフティネット



くらし

5年後の目標

# 保健・医療

健康づくりの意識と行動が浸透し、市内で安心して医療を受けることができ、市民の健康寿命が延伸している。

## ●概況●

令和4年6月に公的病院である京都済生会病院が新築移転し、救急医療をはじめ、小児・周産期医療等いわゆる不採算医療を担っています。比較的軽度の高齢者の救急搬送が増加しており、今後も確実に高齢化が進むことを見通して、地域医療との更なる連携が求められます。

健診・検診の受診率の向上に向け、デジタル技術を用いた多方面からの情報発信を行っています。市民が生活の中で健康に関する知識を身につけ、健康に過ごすための生活を実践できるような環境が重要です。

## 施策

### 健康づくりの促進

5年後  
の  
目標

「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、青壮年期から疾病の予防と早期発見に向けて行動を変えることで、市民の健康寿命が延伸している。

### 医療体制の確保及び福祉との連携

5年後  
の  
目標

かかりつけ医と総合医療機関等との連携に加え、医療と福祉の連携により、市民が疾病時の不安がない生活を送っている。

#### ■関連計画、条例など

\*長岡京市地域健康福祉計画 \*長岡京市健康増進計画 \*長岡京市食育推進計画  
\*長岡京市地域医療ビジョン

## 施策の内容

- 
- ◇ 健康づくりの3要素「運動・栄養・休養」に関する知識と関心を広め、青壮年層を中心に、自然に行動へと繋がる保健活動を目指します。
  - ◇ 健康診断や各種検診、予防接種など、健康な生活を送るための基礎的な保健活動を実施します。
  - ◇ 食育のポピュレーションアプローチにおいて、健康づくりの他に、フードロスなど食に関する多角的な視点を提供できるよう工夫します。
  - ◇ 感染症発生時には、対策本部を中心に正確な情報提供や関係機関と連携した迅速な対応に努めます。

- 
- ◇ 京都済生会病院に対する不採算医療部門への支援や休日の診療体制の確保を通して、市内の医療提供体制を支えます。
  - ◇ 医療・介護関係者のプラットフォームを形成し、資源の把握や課題の抽出、関係者への相談支援など、切れ目のない在宅医療・在宅介護の提供体制を構築します。
  - ◇ がん患者のアピアランスケア支援事業や若年がん患者の在宅療養支援事業を通して、患者本人が望む生活を送れるよう支援します。



くらし

5年後の目標

# 高齢福祉・障がい福祉

介護が必要になっても、障がいがあっても、  
誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らしている。

## ●概況●

本市では、地域包括ケアシステムの構築に向けた様々な取組を進めています。令和6年には介護予防と世代間交流等を目的とした「健幸すぽっと のびのび苑」を整備しました。元気な高齢者の社会参加の促進、認知症対策や介護予防に取り組める環境づくり、互助・共助を基本とした見守り・支えあう地域づくりなども必要です。

障がいのある人等への理解と支援が進み、地域社会の中で支え合いながら、障がい等の重さに関わらず、生涯を通じて自分らしく生活できる社会の実現が求められます。

今後、急速な高齢化によって、介護、医療、生活支援等のニーズの増大が見込まれる一方で、支援従事者などのマンパワーが不足する中、誰もが必要なサービスを選択・利用できる体制の確保が求められます。

## 施策

### 健幸長寿を支える環境づくり

5年後  
の  
目標

経験や能力を活かし、生きがいや喜びを感じられる自分らしい社会参画を通じて、いきいきと暮らしている。

### 高齢者への介護等支援の充実

5年後  
の  
目標

地域包括ケアシステムのもとで、市民の認知症や介護等への理解が進み、介護が必要な人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活している。

### 障がいのある人等への 支援の充実

5年後  
の  
目標

障がいの有無にかかわらず、すべての人が自分らしく暮らしている。

#### ■関連計画、条例など

\*長岡京市高齢者福祉計画・長岡京市介護保険事業計画 \*長岡京市健幸長寿プラン

\*長岡京市障がい者(児)福祉基本計画

## 施策の内容

- ◇ 健幸長寿への取組として、仲間づくりの支援、多様な体験型のプログラムやトレーニングメニューの提供、高齢者 e スポーツの導入等“楽しい”介護予防と健康づくりを展開します。
- ◇ シルバー人材センター、やすらぎクラブ長岡京、関係団体の連携による高齢者の活動発表の場を設けると共に、高齢者のスキルが仕事や地域活動で活かせるマッチングの場を創出します。
- ◇ 各種の地域活動やコミュニティの活性化を支援することで、生涯活躍や介護予防の実践となる場づくりを進めます。

- ◇ 認知症の早期発見から、自分らしく過ごすための支援、家族介護者へのエンパワメントまで、医療・福祉だけでなく商業等様々な業種の連携による地域包括ケアシステムを構築します。
- ◇ 認知症サポーターの養成など認知症や介護に対する社会全体の理解が深まる取組を進めます。
- ◇ 介護者の社会活動と介護の両立を支援するために、相談機能やサービスを充実させます。
- ◇ DX を活用し、介護事業所と行政機関とのネットワークの構築による情報共有の円滑化、業務効率化など、介護人材がいきいきと働ける環境をつくり、人材の確保に繋がります。

- ◇ 共生型交流エリアをフィールドとして、向日が丘支援学校や市民、市内福祉施設との“垣根のない交流”を通し、「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市」の実践に向けて取組めます。
- ◇ 「ほっこりんぐ」をインクルーシブ公園や市民広場などで開催し、販売機会の拡大に繋がります。また、福祉事業所に対して農林水産業との連携による事業化を支援します。
- ◇ 障がい者の雇用促進のため、雇用側が相談できる公的サービスを案内します。
- ◆ アールブリュットやポッチャなど文化スポーツの場では、障がいのある人となない人が共に楽しみ、共に活躍できる場づくりに取組めます。
- ◆ 障がいや障がい者を取巻く社会への理解を深める取組を進めます。



くらし

5年後の目標

# 地域福祉

地域での支えあい・助けあいと公助が連携し、誰もが  
住み慣れた地域で安心して暮らすことができる。

## ●概況●

令和5年度に複合的な生活課題等を抱える世帯に対する包括的な支援と地域住民等による地域福祉の推進を一体的かつ重層的に実施する「とりこぼさない支援体制(重層的支援体制)」と「とりこぼさない支援を考えるプラットフォーム」を構築しました。

こうした仕組みを活かし、地域共生社会づくりを進めていくことが求められます。

## 施策

### とりこぼさない支援体制の 実践

5年後  
の  
目標

福祉的な支援を必要とする全ての人に  
支援が届き、誰もが安心して暮らせる  
地域共生社会となっている。

#### ■関連計画、条例など

\*長岡京市地域健康福祉計画 \*長岡京市営住宅等長寿命化計画



## 施策の内容

- 
- ◇ 重層的な課題を抱える世帯に対し、行政や関係機関が協働し多様なアプローチと多角的な支援に努めます。
  - ◇ 社会福祉協議会と共に社会福祉法人や福祉関係の活動を展開する NPO、市民活動団体とのネットワークを形成し、多機関協働の取組を強化します。
  - ◆ こどもの居場所をつくる取組を通じて多世代が交流する場をつくり、地域における互助・共助の力を育んでいきます。
  - ◆ 学術研究機関と連携し、脳科学など最新の知見を活用しながら、科学的根拠に基づく学習・生活支援を進めます。
  - ◇ 「ひきこもり支援ステーション」を設置し、ひきこもり状態にある人や家族に対する相談等の支援を行います。
  - ◇ 民間事業者と連携し、多様な就業先や新しい活動と居場所の開拓を通して、発達障がい疑いの疑いやひきこもり状態にある人を支援します。
  - ◇ 社会環境の変化に合わせて、民生委員・児童委員の活動を支える環境を整備します。



くらし

5年後の目標

# セーフティネット

年金と医療・介護保険の制度が円滑に運用され、生活困窮の状態の人に適切な保護と自立支援が行われている。

## ●概況●

年金、医療保険、介護保険の各制度を、公平かつ適正に運用しています。今後も、これらの制度を堅実に運用することが必要です。

生活に困窮する人への「福祉なんでも相談室」による個別プラン作成と伴走支援を行っています。社会経済や雇用状況などの変化に伴って、生活保護制度の適切な運用と関係機関との連携による早期の生活自立に向けた支援が重要です。

## 施策

### 公的な生活支援の充実

5年後  
の  
目標

生活上の不安を抱える人、生活困窮にある人が早期の支援によって自立へと向かうと共に、その人の状況に応じた包括的な支援が提供されている。

### 社会保障制度の適正運用

5年後  
の  
目標

年金、医療保険、介護保険の各制度が安定して運用され、市民の健康と生活の安心が守られている。

## 施策の内容

- 
- ◇ 生活保護制度を適正に運用し、生活保護受給の前後を問わず、生活の安定及び就労による自立と社会参加を支援します。
  - ◇ 健康への意識に個人差の大きい高齢や単身の生活保護受給者を中心に、健康管理の支援をします。
  - ◇ 福祉なんでも相談室で専門の相談員による住まいの確保や家計の見直しなど、幅広く生活の困りごとに寄添います。
  - ◇ 不動産業界や京都府と共に、高齢者をはじめ見守りが必要な人の居住環境整備を進めます。
  - ◇ 公営住宅の長寿命化に取り組めます。

- 
- ◇ 国や府、後期高齢者医療広域連合と共に、医療保険財政を支え、制度の安定的な運用における基礎自治体としての役割を果たします。
  - ◇ DX を活用し、国民健康保険に係る各種の手續の簡素化と利便性の向上を図ります。
  - ◇ 介護保険サービスを安定的に利用できるよう、保険者としての役割を果たします。
  - ◇ 国民年金の身近な窓口として、相談体制を維持します。

